

YAMAHA PortaSound

プレイガイド
(取扱説明書)

PSS-370



ヤマハポータサウンドをお買い上げいただき、 ありがとうございます。

このガイドブックは、やさしい曲を演奏しながらポータサウンドをマスターできるようにつくりました。ぜひ、ご一読ください。
また、あとで演奏を楽しんでいるときに、もしアレ?と思うようなことがあったら、もう1度読みなおしてみてください。

もくじ

	ページ
ポータサウンド早わかり	1
ポータサウンド一覧	3
PART I 音色	
オーケストラ音色をだしてみよう	4
オリジナルの音づくり①…デジタルシンセサイザー	5
「スリラー」のベースサウンドをつくろう	6
音づくりのコツ特集	7
オリジナルの音づくり②…オーケストラ・プラス・デジタルシンセサイザー	9
ハードウェアガイドンスくデジタルシンセサイザー解説	10
PART II リズム	
リズムを鳴らそう	12
リズムを呼びに手直ししよう…カスタムドラマー①	14
オリジナルのリズムをつくる…カスタムドラマー②	15
鍵盤をドラムにしちゅおう	15
PART III オートベースコード(自動伴奏)	
オートベースコードってなんだ? etc.	16
指1本で自動伴奏…シングルフィンガー	18
シングルフィンガーコードのまとめ	19
和音を押さえて自動伴奏…フィンガード	20
「いとしのエリー」弾き語り…マニュアルベース	22
ポータサウンド仕上げ	
渚モテラートにトライ!	23
Let's Play!	
●渚モテラート	24
●替い撞のエリス	25
●1グラムの幸福	26
●ワン・モア・ナイト	27
●オーメンズ・オブ・ラブ	28
故障と誤りやすい現象	30
仕様	31

ポータサウンドをながくお楽しみいただくために………注意!

こんな所には置かないでください。

- 暖房器具のそばや日中の車内など、極度に温度が高い場所。
- 湿気の多い場所。

無理な力を加えないでください。

- 落したり、上に座ったりしないでください。
- ボタンやスイッチなどに、無理な力を加えないでください。

使用後は

- 必ずパワースイッチを切ってください。
- 長い間使わないときは電池をぬいておいてください。
- 電源アダプターを使用している場合も、使わないときはコンセントからぬいてください。

お手入れは

- 柔らかい布でホコリ拭きをしてください。
- 汚れがひどいときは、少し水で濡らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合がありますので注意。

ポータサウンド早わかり

まずは、ポータサウンドのアウトラインをつかもう。くわしくは()のページをみてください

1. まずは電源のしたく

電池? それともコンセント?

●電池を使うなら...

ポータサウンドをウラ返してケースのフタをあげ、単2乾電池を6コ入れる。

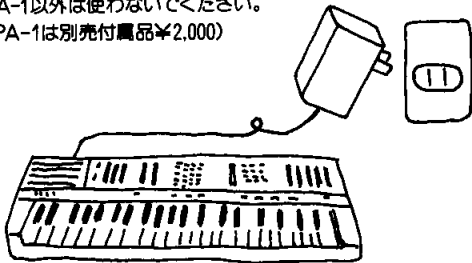
⊕と⊖の方向に注意!



●コンセントを使うなら...

コンセントから電源をとるには、別売のアダプター(PA-1)が必要。このアダプターを背面の付属端子(DC9-12V IN)につなげば、OK。

PA-1以外は使わないでください。
(PA-1は別売付属品¥2,000)



付属端子

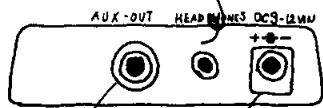
●ヘッドホンを使うときは

ヘッドホンを使えば、夜中の気まぐれプレイもヒミツ練習も自由。付属端子の(HEADPHONES)にヘッドホンのプラグを差し込んで、ドーン

●絶対おススメ。大きな音で迫力プレイ

オーディオ接続コードで(AUX. OUT)からオーディオなどのLINE INにつなぐ。と、リズムのライブ感、オーケストラの生々しさ/演奏の迫力倍増、もっとオモシロくなるゾ。

まん中はヘッドホンをつなぐときに使う。



こちらはオーディオなどをつなぐ端子。

こっちは電源アダプター(PA-1)をつなぐ端子。

2. とにかく音をだそう

①パワーON。

②マスターボリュームを上げる。これで鍵盤を押せば、コズミックの音ができるはず。

③リズムボリュームとA.B.C.ボリュームをまん中にしておく。

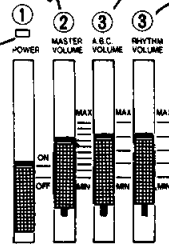
ONするとこのランプが点灯。

(もし、暗くなっていたら注意。
それは電池がなくなりかけているシルシです。
6コとも新しい電池と交換してください。)

レバーを上げるほど大きな音に。

こちらは自動伴奏のボリューム。

これはリズムのボリューム。



4. 自動伴奏にトライ! (16~22 ページ)

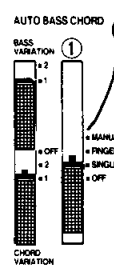
①右のレバーをシングルフィンガーにセット。

リズムを鳴らして下のオートベースコード用鍵盤を押さえてみると... 自分でベース伴奏を演奏したいなら、ここにセット。

ホラ、伴奏が鳴り出した!
リズムをシンクロスタートにしてオートベースコード用鍵盤を押せば伴奏とリズムがいっしょにスタート!

このレバーを動かすとベースのパターンが変わる。

こっちのレバーだとコードのパターンが変わるヨ。



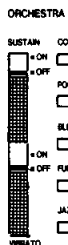
和音を押さえて自動伴奏をするときは、ここにセット。

付属端子はこのあたり。

5. 音

①メロディー演奏好きな音を選

このレバーを音が残って、自



このレバーをふるえてうる



ここが自動伴奏をする鍵盤だ!
(オートベースコード用鍵盤)

シングルフィンガーのときは、たとえばこの鍵盤、FコードだったらFの鍵盤をいよい。鍵盤のところにアルファベックは16~22ページをみてネ。

3. リズムを鳴らそう (12ページ)

- ①リズムを選ぶ。
- ②スタートのボタンを押す。とりあえずリズムが鳴ります。
- ③そこでテンポを調節。

これはリズムスタンバイのボタン。押しただけではリズムは鳴らずにテンポランプが点滅。そこで下のオートベースコード用鍵盤を押してみると…ホラ、リズムが鳴りました!

このボタンを押すと、その小節だけリズムがカッコよくなる。

FULL IN

RHYTHM ①

POPS	LATIN	MARCH/POLKA
DISCO	BOSSANOVA	WALTZ
16 BEAT	REGGAE	
ROCK N ROLL	BIG BAND	TEMPO
COUNTRY	SLOW ROCK	③

こちらを押せばテンポが速くなる。

こちらはテンポが遅くなる。

このボタンを押すとリズムが止まる。

②

音色を選ぼう

演奏の音色を選ぶ。(4ページ)
で押す。

ONにすると鍵盤から指を離しても音は消えていくようになる。

PIPE ORGAN	HORN	ELECTRIC PIANO
CLARINET	SAXOPHONE	HARP/CHOIR
VIOLIN	OBOE	KOTO
FLUTE	MUSIC BOX	JAZZ GUITAR
TRUMPET	PIANO	VIBES

ONにすると音が
きれいな響きになる。

カスタムドラマーで リズムパターンを つくろう (14~15ページ)

- ①プログラムスタート/エンドをON。リズムが鳴ります。
- ②キャンセルを押しながら打楽器の鍵盤を全部押す。「チッ・チッ・チッ・チッ」とメトロノームの音だけが鳴る。
- ③打楽器の鍵盤をドラマー気分でたたこう! もういちどプログラムスタート/エンドを押してリズムを止めればできあがり。
- ④プレイ/ストップを押すとつくったリズムパターンが鳴ります。

CUSTOM DRUMMER

PROGRAM START/END ①③

CANCEL ②

PLAY/STOP ④

デジタルシンセサイザーで 自分だけの音色づくり

(5~11ページ)

つくり方には2種類ある。ここでつくれる音色はなんと656,250通り!

- 方法その1
- ①ON/OFFスイッチをON。鍵盤を押さえてみると、オーケストラになかった音色がでてくる。
 - ②上のレバーをいじってみよう。いろんな音がとびだすぞ!
- 方法その2
- ①オーケストラの音色をひとつ選んで、ON/OFFスイッチをOFFに。
 - ②上のレバーをいじってみよう。選んだ音色がどんどん変わるよ。

②

WAVE SPECTRUM MODULATION ATTACK DECAY VOLUME

① DIGITAL SYNTHESIZER ON/OFF

自動演奏を聴こう

このボタンを押すと自動的に「美しく青きドナウ」のミュージック・スタート! もういちど押せば止まるよ。

START/STOP

DEMONSTRATION

AHA

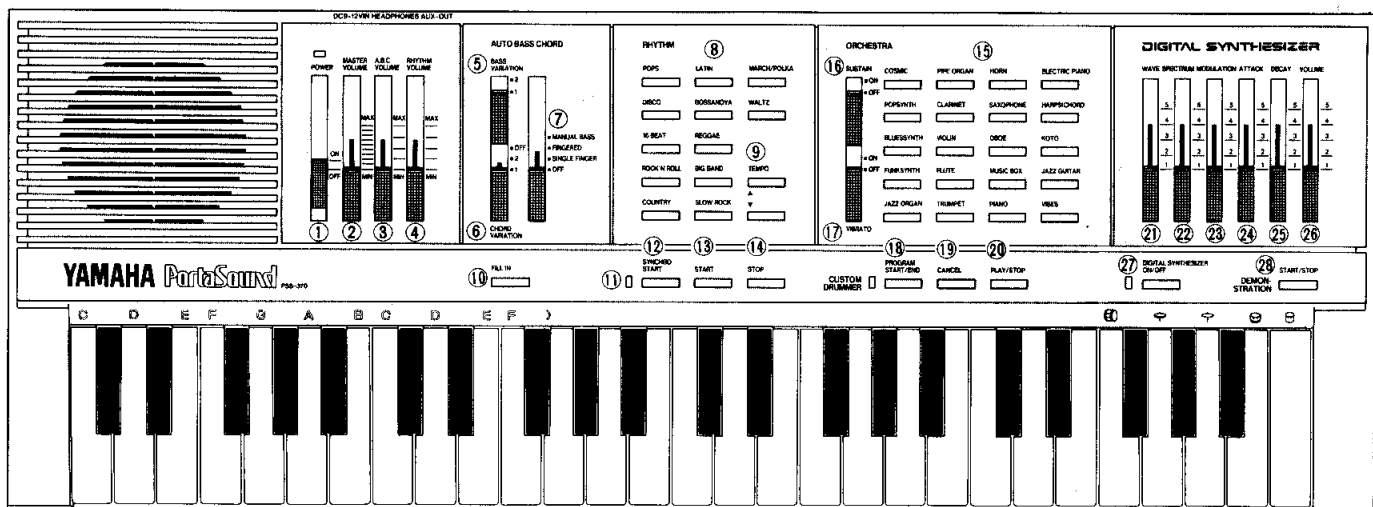
コードだったらC
だけ押さえれば
参考に。くわし

ここは打楽器になる鍵盤
(カスタムドラマー用鍵盤)

カスタムドラマーでリズムパターンをつくるとき、ここを白鍵をたたく。

ポータサウンド一覽

ポータサウンドのボタンやレバーの名まえと、そのはたらき。



① パワースイッチ/パイロットランプ

電源を入れるスイッチ。電気が通じればパイロットランプが点灯。

② マスターボリューム

全体の音量を調節するレバー。

③ A.B.C. ボリューム

オートベースコード(自動伴奏)の音量を調節するレバー。

④ リズムボリューム

リズムの音量を調節するレバー。

オートベースコード (16~22ページ)

⑤ ベースバリエーション

自動伴奏のベースのパターンを選ぶレバー。

⑥ コードバリエーション

自動伴奏のコードのパターンを選ぶレバー。

⑦ オートベースコードセレクター

自動伴奏をするとき、指1本のシングルフィンガーか、和音を押さえるフィンガードか、自分でベースのパートを演奏するマニュアルベースかを選ぶレバー。

リズム (12~15ページ)

⑧ リズムセレクター

リズムの種類を選ぶボタン。

⑨ テンポコントロール

リズムのテンポを調節するボタン。▲を押せば速く、▼を押せば遅くなる。

⑩ フィルイン

リズムが鳴っているとき、このボタンを押すとリズムが一時的に変化する。

⑪ テンポランプ

リズムが鳴っているとき小節ごとに点灯するテンポ確認用ランプ。

⑫ シンクロスタート

このボタンを押すとリズムスタンバイとなり、オートベースコード用鍵盤を押せばリズムがスタート。

⑬ スタート

リズムをスタートさせるボタン。

⑭ ストップ

リズムをストップさせるボタン。

オーケストラ (4ページ)

⑮ トーンセレクター

音色の種類を選ぶボタン。

⑯ サステイン

音に自然な余韻をあたえる効果のレバー。

⑰ ピブライト

音をふるわせてうるおいをあたえる効果のレバー。

カスタムドラマー (14~15ページ)

⑱ プログラムスタート/エンド

オリジナルのリズムパターンをつくるときに、押すボタン。

⑲ キャンセル

リズムパターンを消したいとき、このボタンを押しながら打楽器の鍵盤を押す。

⑳ プレイ/ストップ

つくったリズムパターンを鳴らしたいときに押すボタン。

デジタルシンセサイザー (5~11ページ)

㉑ ウェーブ

音の波形を選ぶレバー。

㉒ スペクトラム

周波数を変化させるレバー。

㉓ モジュレーション

変調の度合いを選ぶレバー。

㉔ アタック

音の立ち上がりの音量や音色の変化のしかたを選ぶレバー。

㉕ ディケイ

鍵盤を押さえているときの音の長さを選ぶレバー。

㉖ ボリューム

デジタルシンセサイザーの音量を調節するレバー。

㉗ デジタルシンセサイザーON/OFFスイッチ

オリジナルの音色をつくるときに押すボタン。また、これをOFFにして㉑~㉖のレバーを操作すれば、オーケストラ音色から音づくりができる。

デモンストレーション

㉘ スタート/ストップ

このボタンを押すとヨハン・シュトラウスの「美しく青きドナウ」の曲が、自動的にいろいろな音色で演奏される。テンポは⑨テンポコントロールで調節。

㉙ オートベースコード用鍵盤

自動伴奏をするときに押さえる、伴奏用の鍵盤。

㉚ カスタムドラマー用鍵盤

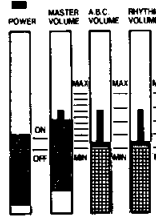
カスタムドラマーでリズムパターンをつくるとき、打楽器としてたたく鍵盤。

PARTI 音色

オーケストラ音色をだしてみよう

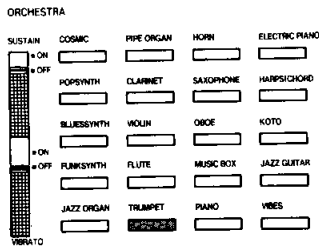
PSS-370のオーケストラには、20種類の楽器の音がつまっています。さて、ピアニストになる？ それともトランペッター？

1. パワースイッチON。マスターボリュームを上げる。
パワースイッチONのときは、いつもコズミックの音になる。



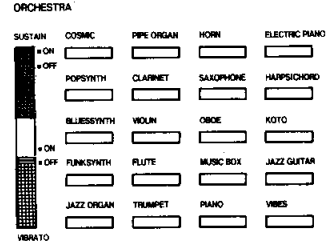
2. トーンセクターから好きな音色をひとつ選んでON。

たとえばトランペット…



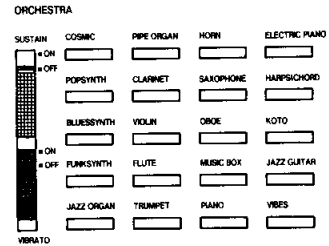
4. 効果を加えてみよう。
● サステイン

このスイッチをONにすると、鍵盤から指を離れたあとでも余韻が残って、自然に消えていくようになるよ。ピアノやバイブなどに効果的。



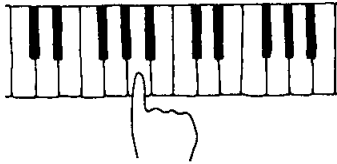
- ビブラート

このスイッチをONにすると、音がこざざみにふるえてうるおいのある響きになる。バイオリンなど、持続音におススメ。



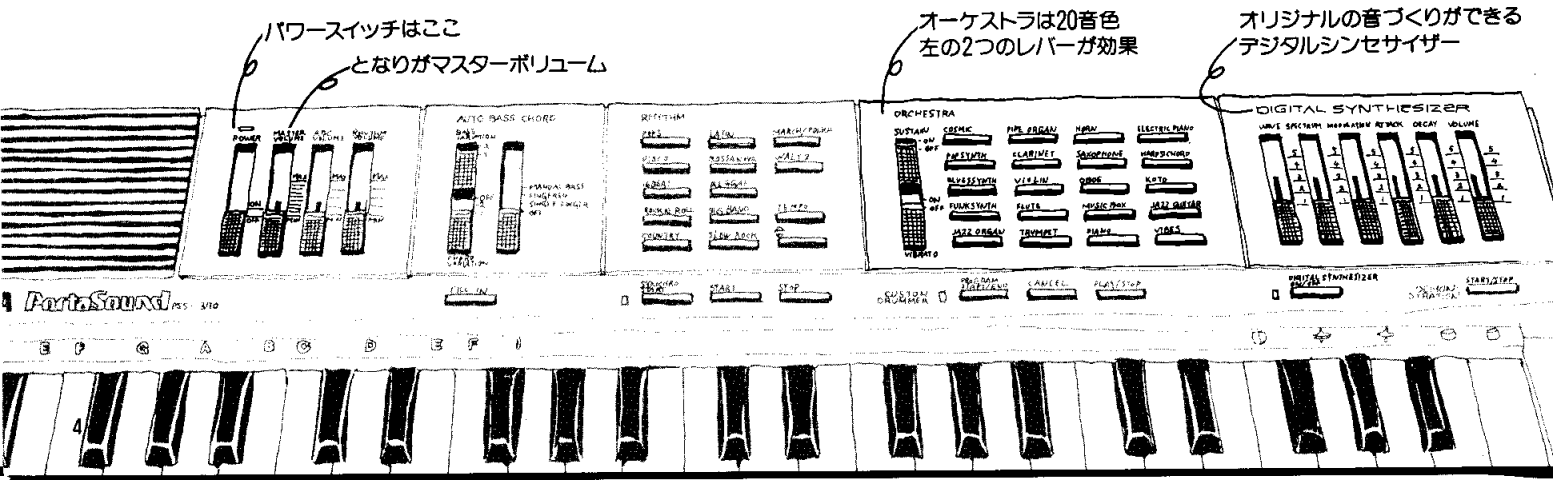
3. 鍵盤を押さえてみよう。

トーンセクターのボタンを押し変えて、いろいろな音色を聴いてみよう。



- ★同時に9音までの和音演奏ができます (リズム、オートベースコードを使用していないとき)。
- ★いずれかのトーンセクターをONすると、前に選んでいた音色は自動的にキャンセルされます。
- ★2つ以上の音色を組合せて使うことはできません。
- ★鍵盤を押さえたまま違う音色のトーンセクターのボタンを押すと、鳴っていた音が途切れます。もういちど鍵盤を押さなおしてください。

★サステイン、ビブラートはデジタルシンセサイザーでつくった音にも使うことができます。



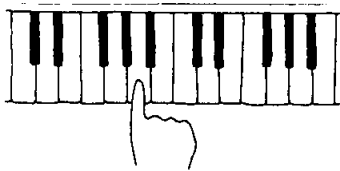
オリジナルの音づくり①……デジタルシンセサイザー

デジタルシンセサイザーは、自分のイメージで音づくりができる。音の波形や音量の変化のしかたを選び、その組合せてなんと、656, 250通りもの音色がつけられるのだ。

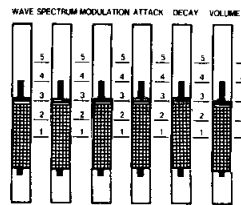
1. デジタルシンセサイザーのON/OFFスイッチをON。



2. 鍵盤を押さえてみよう。



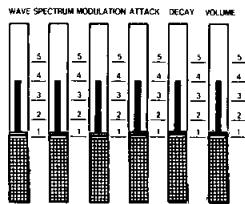
3. デジタルシンセサイザーの各レバーを動かして音色をつくろう。



鍵盤を押さえて音を聴きながら、イメージにあった音色をさがそう。操作はこれだけ。レバーを動かすのに特別な順番はない。自分の耳で確かめながらイメージする音ができるまで、レバーを上げたり下げたりガンバッテ!

★6~8ページには、こんなふうにしたらどお? という提案的な操作手順と音づくりのコツをまとめてみました。参考にしてください。

DIGITAL SYNTHESIZER



デジタルシンセサイザーのレバーの名前と、それぞれの役目を簡単にいえば次のとおり。ただし、本当はこんなに単純ではない。そのところは、レバーをいろいろイジってみるうちに、なんとなくわかると思う。もっと、理論的にちゃんとしたことが知りたい人は10~11ページを読んでみてください。

こちらの3つが音色のイメージを決めるレバー。

●ウェーブ

つくる音色のモトになるものを選ぶ。料理でいえば、材料選び。

●スペクトラム

音の高さ(音域)と音色を選ぶ。ウェーブで選んだ材料をどう仕上げるかという、料理でいえばトマト味がしうゆ味かというような大事な役をはたす。

●モジュレーション

レバーを上げるほど音が明るく、かたくなる。これを料理にたとえた場合は塩かげん。レバーを上げるとピリっとし、下げたときはマイルド。

この2つは鍵盤を押したときから離すまでの音色と音量の変化を設定する。

●アタック

鍵盤を押したときの音のでかたを選ぶ。大きく分けて、だんだん音が大きくなるタイプとすぐに本来の音がでるタイプがある。たとえば、ロに入れたウイスキーボンボンは割れてその味がでるまで少し時間がかかるが、ぶつうのアメ玉は初めから同じ味。この2つの違いみたいなもの。

●ディケイ

鍵盤を押した瞬間はアタックで選ぶが、そのあと鍵盤を押しつづけていると音がどうなるかを選ぶのがディケイ。だんだん音が小さくなって消えるタイプと、ずーっと音がつづくタイプがある。いわば、だんだんとけてなくなるアメ玉と、ガムの違い。

●ボリューム

これは単純にボリューム。デジタルシンセサイザーでつくった音のみの音量を調節する。

「スリラー」のベースサウンドをつくらう

なるべく早くイメージする音にたどりつくためのちょっとしたコツがあるので、実際にあの「スリラー」のベースの音をつくりながら紹介しよう。

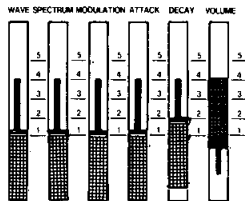
1. デジタルシンセサイザーON/OFFスイッチをON。

レバーは全部1にしてスタート。



2. 右はじのボリュームを4にセット。

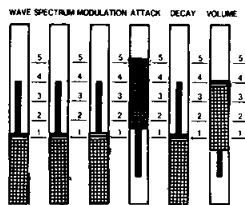
これはデジタルシンセサイザーの音だけの音量調節をするレバー。



●まずアタックとディケイで鍵盤を押さえたときから離すまでの音のでかたを決める。

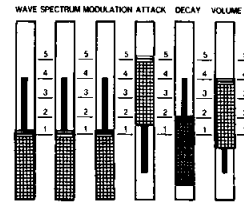
3. アタックを5にセット。

これは鍵盤を押さえて音が鳴りはじめるときの感じを選ぶレバー。1がいちばん出だしがにぶくてフワッとした感じ。レバーを上げるほど強くなる。ここでは、ベースの弦をはじくイメージで5に。



4. ディケイを2にセット。

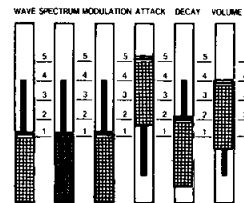
これは鍵盤を押している間、音がどんなふうに変わっていくかを選ぶレバー。1・2は鍵盤を押している間、音が鳴り続ける持続音タイプ。3・4・5はだんだん音が消えていく減衰音タイプで、5がいちばん早く音が消える。(普通この段階では、どちらのタイプか選ぶぐらいで最後に音を聴きながら決定するといい。)



●それではウェーブ、スペクトラム、モジュレーションのレバーで音色をつくらう。

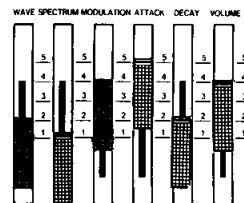
5. スペクトラムを1にセット。

これは音の高さを調節するレバー。レバーを上げていくと高い音域の音になり、響きも変わっていく。ベースをつくるには、1が最適。



6. ウェーブとモジュレーションで音さがし。

ウェーブを1にして、音をだしながらモジュレーションを1から5まで順番に聴いていく。つぎにウェーブを2にして同じくモジュレーションを変えていく…こうやってイメージする音色をさがすといんじゃないかな。ここでは、ウェーブ2、モジュレーション4がよさそうだ。



これにて「スリラー」のベースができあがり。では、下のフレーズをレッツプレイ!

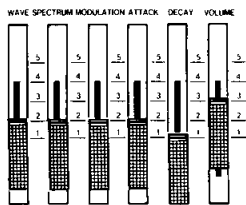
スリラー

Music by R. Temperton

音づくりのコツ特集

デジタルシンセサイザーでつくれる音色のサンプルと、音色をつくるときのちょっとしたコツをまとめました。オリジナルの音づくりの参考に…。

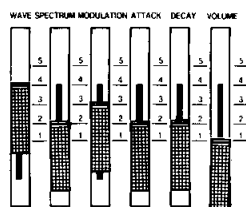
NO.1 ソフトホルン



NOTE

ブラス系の音色をつくるときのキメ手は、スペクトラム2とウェーブ2のコンビ。ここでは、ホルンのやわらかい雰囲気を出すためにモジュレーションを2にした。また、アタックも2ぐらいに音の立ち上がりを遅くしたほうが、吹くときのちょっと息をためる感じがでる。もし、パンパカパーンというたぐいのブラスにするなら、モジュレーションもアタックもぐらゐまでアップするといゐ。

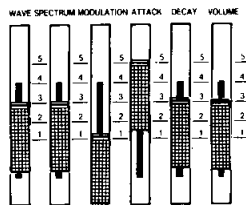
NO.2 チェロ



NOTE

これもNO.1と同じくスペクトラムが2。ストリングス系とブラス系というのゐ、音にちよつと似たところがあるんだ。ブラスにくらべると、ストリングスって明るくてさびやかなので、モジュレーションは3。そして、アタック2とディケイ2、さらにウェーブ4を組合せたら弦をこすっている感じがでた。

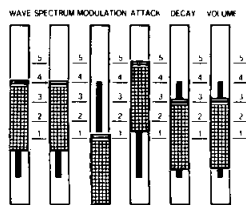
NO.3 ジャズギター



NOTE

オーケストラにもジャズギターの音色があるが、こゝでつくったジャズギターはもつとネアカの音。こういうギターや次のピアノのような弾いた瞬間の音がいちばん強くてだんだん消えていく音色には、アタック5とディケイ3のコンビがおススメ。

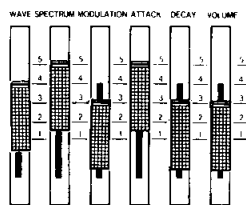
NO.4 バイブ&ピアノ



NOTE

NO.3とほとんど同じセッティングだが、スペクトラムを4に上げると音色が金属的な感じになるという例。ふつうのピアノ音色とはかなり違う、シンセならではの音。ピアノとバイブのあゐのこゝてイメージだ。こゝからウェーブを1、スペクトラムを3にするといわゆるピアノ音色に早変わり。

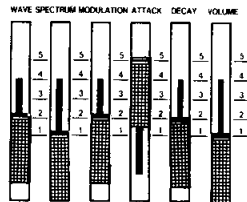
NO.5 ベル



NOTE

この音色のキメ手は、なんといつてもスペクトラムを5にしたことだ。こゝにセットすると、いままでと響きがかなり変わった感じになる。音程感がニブい。いゝかえれば、ドの音はドなんだけどなんだか違う音もまじっているみたいだゾという、ちよつとオモシロい音になる。チャイムとか鐘の音って、そんな感じがするだろう？

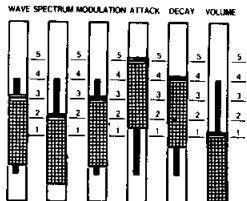
NO.6 ウッドベース



NOTE

6ページでつくった「スラー」のベースとほとんど同じセッティングだが、ウッド独特のやわらかな感じが、モジュレーションを2まで下げることでよくでる。

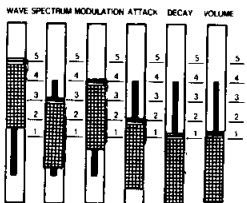
NO.7 シンセピアノ



NOTE

響きそのものは確かにピアノなんだけど、鍵盤を押したときコツンコツンと鳴るシンセらしい音。アタック5とディケイ4の組合せが、コツンコツンさせるのだ。

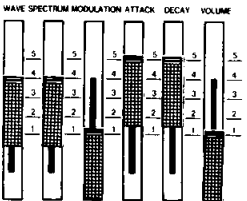
NO.8 ハーモニカ



NOTE

サクソとかハーモニカなどリード楽器の音をつくる時には、ウェーブ5とスペクトラム3の組合せがいいようだ。そして、NO.1のホルンと同じ息を吹きこむ、ちょっとモタッとした感じをアタック2でだす。この音は、高い音域だとハーモニカ、低めになるとアコーディオンにも似ているよ。

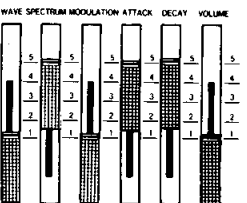
NO.9 グロッケン



NOTE

NO.9・10・11は3つとも、アタックとディケイに5を選んでいる。つまり、音の出だしが強くてすぐに減衰する打楽器のような音をつくるには、この組合せが向いているんだ。グロッケンには、鉄琴の仲間だから金属的な音。そこで、スペクトラムとウェーブを4にする。この音は高い音域で演奏してほしい。

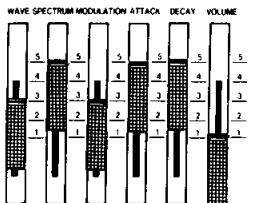
NO.10 マリンバ



NOTE

NO.9に対して、NO.10のマリンバは木琴の仲間だからやわらかめにするわけだけど、ここではシンセっぽいマリンバというイメージでスペクトラムを5にした。これは、低めの音域で演奏したほうが雰囲気が出る。

NO.11 スチールドラム



NOTE

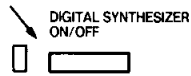
NO.10のマリンバを金属っぽくすると、このスチールドラムになる。スペクトラム5は、そもそも金属的になりやすいんだけど、NO.10ではウェーブもモジュレーションも1におさえているから素朴なマイルい音になったワケ。また、NO.5のときのような音程感のニブさをNO.10・11では、さほど感じないのはディケイを5にしたために響いている時間が短いからだ。

オリジナルの音づくり②…オーケストラ・プラス・デジタルシンセサイザー

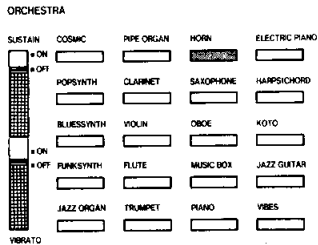
もうひとつの音づくりの方法。それは、オーケストラ音色をもとにしてつくる方法だ。イメージにあわせてオーケストラ音色にちょっと手直しを加えたり、デジタルシンセサイザーだけではできなかった新しい音色をつくりだしたり…音色バラエティーはもう無限に近い!

●ホルンをコツンという打楽器つばい音にしてしまおう。

1. デジタルシンセサイザーのON/OFFスイッチはOFFにする。
これをOFFにするのが、この②の方法のミ。

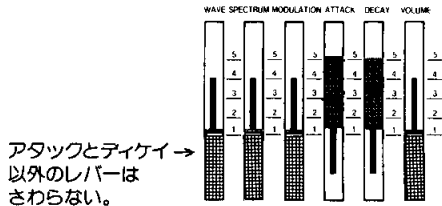


2. オーケストラのトーンセクターで、ホルンを選び、そのボタンを押す。



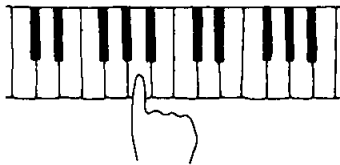
3. デジタルシンセサイザーのアタックとディケイのレバーを5にする。

オーケストラのホルンから、レバーを動かしたアタックとディケイの部分だけが変わる。もし、はじめから5になっていたら、いちどレバーを下げてから5にセットしなおさないと、変わらない。



4. 鍵盤を押さえてみよう。

はじかれてるみたいなホルンサウンドのできあがり。



こんなふうにあたックとディケイを変えるだけで、出だしの弱い音を強くしたり、反対に出だしが強くてだんだん小さくなるピアノのような音を出だしがやわらかくてのびる感じにしてしまうことができる(両方のレバーを1に)。

★減衰音のなかのミュージックボックス、ピアノ、琴、ジャズギター、パイプの5つの音色は持続音にすることができません。

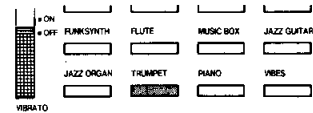
★もとのオーケストラ音色にもどりたいときは…

- ① そのトーンセクターのボタンをもういちど押す。
- ② 動かしたレバーを3にする。

このどっちでもOK! ②のほうは、たとえばいろいろなレバーを動かしたあとでウェーブだけはおもとのウェーブを使ったほうがよかったなあというようなときや、アタックを変えるつもりじゃなかったのにまちがえていじっちゃったというときに便利。

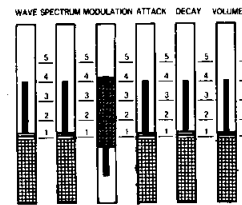
●トランペットの音をもっとハデにしてみよう。

1. オーケストラのトーンセクターでトランペットを選び、そのボタンを押す。



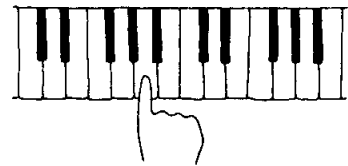
2. モジュレーションのレバーを4に上げる。

もし、4になっていたらいちどレバーを動かして4にセットしなおす。



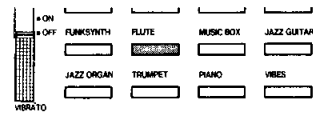
3. 鍵盤を押さえてみよう。

このように、音色そのものはあまり変えないで音を明るくしたいとか、ソフトにしたいというときは、モジュレーションのレバーだけを動かす。

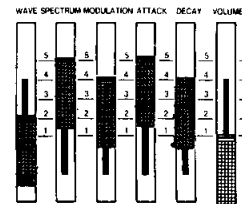


●フルートの音色から、意外な音が…

1. オーケストラのトーンセクターでフルートを選び、そのボタンを押す。



2. デジタルシンセサイザーのレバーをセット。



フルートがシンセピアノ・サウンドに変身! こんなふうには、まったく違う音色につくりかえてしまいたいときはウェーブやスペクトラムを含めてレバーを動かすといい。フルートがピアノっぽくなるなんて、意外性があるってオモシロイだろう? いろいろためして、イイ音色を発見しよう。それから、できた音色はわすれないようにメモっておくといいよ。

ハードウェアガイダンス デジタルシンセサイザー解説

デジタルシンセサイザーっていったいどんなしくみなんだ？もっとくわしく知りたい！という方のために。ムズカシー話はゴメンだという人は、ドーン気にせずムシしてください。

FM音源ってナニ？

デジタルシンセサイザーを理解するために、まずPSS-370の音がでるしくみ、つまりFM音源のハナシから入ろう。

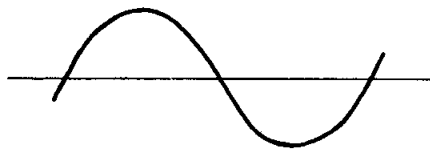
FM音源の2つのオペレーター

FM音源というのは、2つのモノが組合わさって1つの音色をつくりだしています。(このモノを、オペレーターという。)それでは、もう少しわかりやすくするために、人にたとえて説明しよう。ここに、単純な性格のA子と、A子にすぐちよっかいをだす無¹なB太がいる。A子は単純な性格でひとりではただポーンとしか歌えないけど、B太がだすちよっかいにも素直に反応するんだ。B太がなぐれば「キヤー」と叫び、コチョコチョとやれば「ウハハ」と笑う。そしてB太は声をださない。FM音源のしくみってコレにとってもよく似ているんだ。

波形のハナシ

音に波のあることは知っているかな？この波は音によっていろいろなカタチをしている。これを波形というんだけど、この波のカタチが音色をつくっているんだ。そして、FM音源の2つのオペレーターもそれぞれ波形を持っている。ところがこのオペレーターの波形は、どんな音色のときでも、2つとも「サイン波」と呼ばれるツルリンとした形の波(図1)の仲間であっているんだ。

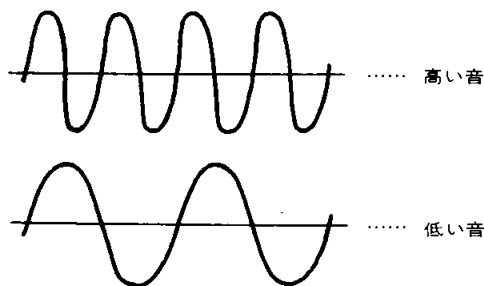
(図1)これがサイン波という波形だ



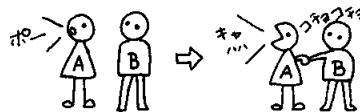
周波数のハナシ

まず、周波数という言葉は聞いたことがあると思う。△△Hz(ヘルツ)というやつだ。周波数とは1秒間に音の波が何回やってくるかを表し、この数が多いほど音程は高くなる(図2)。たとえば周波数440Hzのラの音を単純に1オクターブ上げるには倍の880Hzに、もう1オクターブ上げるにはそのまた倍の1,760Hzにすればいい。それじゃ、FM音源にはオペレーターが2つあるのだから、それぞれ違う周波数にしたらどうなるのだろうか？じつは、コレがFM音源の音色づくりのカギなんだ。

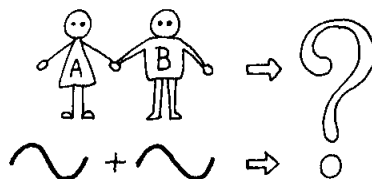
(図2)



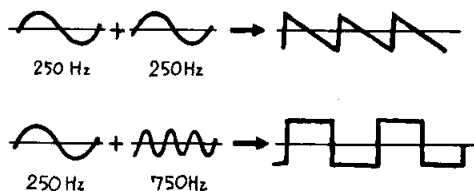
つまり、自分だけでは単調な音しかだせないAオペレーターは、音をだすのが専門。反対に自分は音をだせないBオペレーターは、Aオペレーターの音の調子を変化させるのが、専門(これを専門用語では、変調という)。このように役割がはっきり分担された2つのオペレーターが組合わさって、1つの音色をつくりだしているってワケなんだ。



「あれ？それじゃなんでみんな同じような音にならないの？」と思うだろう？ここが2つのオペレーターが1組になって音をだしているヒミツ。サイン波とサイン波を組合わせてできる音は必ずしもサイン波にならないんだ。なぜか？そこで、大切な役目をしているのが周波数だ。



さっき、波形のハナシのところでも2つのオペレーターは両方とも同じサイン波の仲間であっているといったが、このサイン波という音の波はちよつと変わった性質を持っている。違う周波数のサイン波とサイン波を組合せると、カタチの違う波形になるという性質だ。そして、この組合せるサイン波の「周波数の比率」によって、いろいろな波形を生みだすんだ。これを具体的にいうと、音出し専門のAオペレーターも変調専門のBオペレーターも同じ250Hzのとき(A:Bの比率は1:1だね)と、Aオペレーターが250HzでBオペレーターが750Hz(A:B=1:3)のときは、できる波形が違うということなんだ。波形が変わればモチロン音色も変わる。だからこのデジタルシンセサイザーはサイン波しなくても、プラスとか鐘とかの音色までつくることができるんだ。つまり、FM音源のほんとの原理というのはこういうことなんだ。



それぞれのレバーの役目は？

いよいよ本題に入るが、もちろんデジタルシンセサイザーをON、いちばん右にあるボリュームのレバーはただの音量調節なので、好きなところにセット。

音色を決めるのはウェーブ、スペクトラム、モジュレーションの3つ

●ウェーブ

このレバーの5つのポジションに、それぞれ1組ずつオペレーターが入っている。波形のハナシでいったように、ここにあるのはみんなサイン波の仲間なんだけど全部が図1のカタチをしているわけではない。音だし専門のAオペレーターはウェーブ5、変調専門のBオペレーターはウェーブ3のとき、ちょっとだけ違うカタチをしている。では、耳で納得するでしょう。

①デジタルシンセサイザーをON、アタックを5にしてその他のレバーを1に。

②鍵盤を押さえたまま、ウェーブのレバーを1から順に上げていく。

違いがわかるかな？ レバーを1・2・4にしたときは、ほとんどおなじ音って感じたことと思う。

●スペクトラム

これは、さっきFM音源の周波数のハナシででてきた「周波数の比率」を選ぶレバーだ。どんな比率になっているかというのは、表1のとおり。この比率によって音色がどう変わるかは耳に頼るしかないんだけど、レバーを5にしたときだけはちょっと注意。表1をみると、5のところだけが3:5という、BをAで割り切れない数字になっている。こういう比率のときは、ちょっと音程感のニブい音になるんだ。だから、鐘とかチャイムのような音をつくるときにここにするといいワケ。

●モジュレーション

これはBオペレーターの「変調の強さ」の調節。A子とB太でいえば、B太がA子をくすぐる強さの調節だ。レバーを上げるほど変調が強くなり、ウェーブのレバーを上げていったときのフィードバックの感じもよくわかる。ためにモジュレーションを3にして、ウェーブのレバーを上げていってみよう。今度は、けっこう違いを感じることができたはず。

アタックとディケイは、音の時間的変化(エンベロープ)を担当

音にはいろいろあって、たとえばタイコはドンと鳴ってすぐ消えるだろう？ オルガンは鍵盤を押さえている間中、鳴っている。そして、バイオリンは最初に弦にふれたとき、こすっているとき、それぞれちょっとニュアンスが違う。こんなふうに、音には時間的

●アタック

これは、その時間的変化のうち弾きはじめの部分が受け持ち。タイコのようにたまた瞬間がいちばん強い音なのか、バイオリンのようにはじめはやさしくてだんだん大きくなるのかってこと。でも順番にレバーを上げていくと、鍵盤を押したときの音色も変わるような気がするだろう？ それは、2つのオペレーターにそれぞれ違うスピードが設定されているからなんだ。図3を見てほしい。実線が音をだすAオペレーターの、点線が変調するBオペレーターのスピードを表している。(a)のほうの典型的なタイプがアタック1。Bオペレーターの変調が最高潮に達するまでに時間がかかっているため、はじめのうちはAオペレーターもあまり変化せずに音をだしている。同じようにAオペレーターのスピードのほうが多いのが4なんだけど、1ほどBオペレーターとの差がない。

●ディケイ

最高潮に達したAオペレーターとBオペレーターをそのあとどうするか、つまり鍵盤から指を離すまでその音量と音色をどう変化させるかがこのディケイの位置によって決まる。そして、このディケイもAオペレーターとBオペレーターそれぞれ別々にセットされているから、レバーの位置によって音色も変化するように感じるんだ。レバーを3・4・5にしたときが、だんだん音が消える減衰音になり、5がいちばん早く音が消える。1と2はざーっと鳴りつづける持続音だが、1のときはいちばん大きな

では、この1・2・4の違いはなんだろう？ そこで、もう1度A子とB太に登場してもらって説明しよう。A子をB太がコチョコチョしているって仮定する。A子は笑いながらうたっているんだ。で、どのB太もみんな同じようにコチョコチョしているんだけど、じつは、A子の笑ってるのを見てB太自身も笑っている。B太は無口だから声はださなくて笑うと身体がゆれてしまう。で、その振動がA子の声に影響するんだ。ウェーブのレバーを上げるほどB太は笑いごとになっていく。つまり、BオペレーターはAオペレーターの音の調子を変えているんだけど、それが自分にも影響しているってワケなんだ。これを専門用語では、「フィードバック」というんだけど、Bオペレーターの変調が強くないときはあんまり音に影響しない。

(表1)

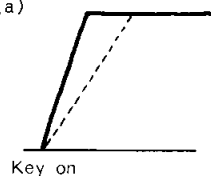
スペクトラムのレバー	Aオペレーター	Bオペレーター
5	3	5
4	1	7
3	1	3
2	1	1
1	1	0.5

実際に聴いたときの音の差を言葉にすると、まあモジュレーションのレバーを上げるほど音が明るく、カタくなるって感じかな。

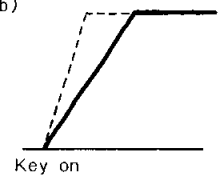
な変化があって、それもひとつの特徴なんだ。こういう時間的な変化をエンベロープといい、アタックとディケイはそれを担当している。

反対にBオペレーターのスピードのほうが多い(b)タイプが2・3。このときは、鳴りはじめの音量の変化として感じ、2より3のほうが多く音が大きくなる。そして、5にしたときはAオペレーターとBオペレーターのスピードが同じ。それも他のどの位置にしたときより、スピードが速い。打楽器なんかにはベストマッチするタイプだ。

(図3) (a)

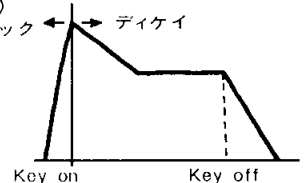


(b)



音になったままつづき、2のときは少しレベルが下がってから音がつづき、という違いがある。

(図4)



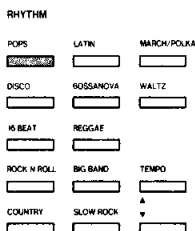
PART II リズム

リズムを鳴らそう

リズム・バラエティーは12種類。リズムをつけて「いとしのエリー」を演奏しよう!

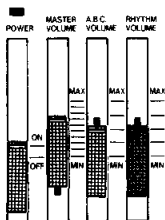
1. リズムセクターで、リズムをひとつ選ぶ。

ワルツは3拍子、そのほかのリズムは4拍子。「いとしのエリー」はポップスにセット。



2. リズムボリュームのレバーをまんなかに。

リズムボリュームのレバーが最小(MIN)になっていると、リズムの音は鳴りません。



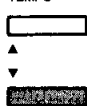
3. リズムのスタートのボタンをON。

ポップスのリズムが鳴ります。



4. テンポコントロールでテンポを調節。

TEMPO



●テンポランプ
小節のアタマで点灯する、テンポ
の確認に便利なランプ。

鳴っているリズムの音をききながらメロディーを思い浮かべて調節しよう。テンポを速くしたいときは▲、遅くしたいときは▼をON。▲と▼を同時に押すとものテンポにもどります。(J=120)

「いとしのエリー」は▼を7回ON。

★テンポは31段階に変えられます。パワーをONしたときから、▲を15回押したときがいちばん速く、▼を15回押したときがいちばん遅い。それ以上押してもテンポは変化なし。また、押しつづけるとどんどん変わっていく。(可変幅)=43~340)

5. リズムにあわせてメロディーを。

音色はELECTRIC PIANOを選んでメロディーを、1・2・3・4頭のなかでリズムを数えて弾こう。出だしは1・2・3とお休み、1でミファーと入ります。

リズムとメロディーの音がバランス悪いな、と思ったらマスターボリュームとリズムボリュームのレバーで調節しよう。

6. リズムをストップするには、リズムのストップをON。



なんだか、出だしがキマらない。そこで――

うまく出だしをキめるには

7. シンクロスタートのボタンをON。



リズムスタンバイの状態。リズムは鳴らないでテンポランプが1拍ごとに点灯し、演奏が始まるのを待っています。

8. プレイスタート!

「泣かしたこともー」の「したこともー」のところで、左手で鍵盤を押えたとたんにリズムが鳴りだしたでしょう? つまりシンクロスタートというのはオートベースコード用鍵盤を押さると同時にリズムを1拍目からスタートさせるボタンなのです。

★シンクロスタートは曲の途中で押せばブレークとしても使える便利モノ。

オカズを入れてプレイを華麗に!

9. フィルインをチョンと押してみよう。

リズムが鳴っているときフィルインのボタンを押すと、その小節だけがカッコイイリズムになります。曲が盛り上がるころ(俗にサビという)の前とか、フィーリングで使おう!ここでは、5小節めの1拍め、「おれー」を弾く前に右手でフィルインをON。



★フィルインのボタンを押しつづけると変則的なリズムが長く続きます。

★フィルインのボタンをONしてからリズムをスタートさせると、変則的なリズムで演奏をはじめることができます。

いとしのエリー

Music & Words by K. Kuwata

Handwritten musical score for the song "いとしのエリー". The score is written on a grand staff with treble and bass clefs. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef. The key signature is one flat (B-flat major/E minor), and the time signature is common time (C). The score is divided into two systems. The first system has four measures with chords C, Em, C7, and F. The second system has six measures with chords Dm7, G7, C, D7, F, G7, and C. The lyrics are written below the treble clef.

な か し た こ と も あ る つ め た く し て も な お よ り そ う き も ち が あ れ ば い い の さ お れ

に し て み り や こ れ が さ い ご の la - dy エ リー my love so sweet

©1979 by BURNING PUBLISHERS. 日本音楽著作権協会(出)許諾第 8572231-501号

Hand-drawn diagram of a digital synthesizer's control panel, specifically focusing on rhythm and drum settings. The diagram is divided into several sections:

- リズムのボリューム調節 (Rhythm Volume Adjustment):** Shows four vertical sliders labeled "COPI", "MUSIC", "ACCOM", and "SFX".
- ここが基本のリズム (This is the basic rhythm):** A central section with a grid of buttons for various rhythms:

POPS	JAZZ	MARCH/POLKA
DISCO	BOSSA/NOVA	WALTZ
ROCK	REGGAE	
ROCK&ROLL	BIG BAND	TEMPO
COUNTRY	SLOW ROCK	
- オリジナルのリズムをつくるカスタムドラマー (Original rhythm creation Custom Drummer):** A section with a grid of buttons for various instruments:

DRUM KIT	ORCHESTRA	PIPE ORGAN	SOLO	ELECTRIC BASS
DRUM KIT	DRUM KIT	CLARINET	SUSPICION	HARDWOOD
DRUM KIT	DRUM KIT	FLUTE	TRUMPET	PIANO
DRUM KIT	DRUM KIT	TRUMPET	PIANO	TRUMPET
- デジタルシンセサイザー (Digital Synthesizer):** A section with four vertical sliders labeled "SOUND", "SPECTRUM", "HARMONY", "ATTACK", "DECAY", and "VOLUME".

At the bottom, there is a keyboard layout with labels for "バスドラム" (Bass Drum), "ハイハットクロス" (Hi-Hat Cross), "ハイハットオープン" (Hi-Hat Open), "スネアドラム" (Snare Drum), and "ボンゴ" (Bongos). The Yamaha logo is visible at the bottom center.

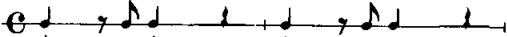
カスタムドラマー用鍵盤

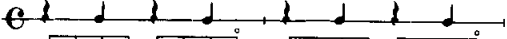
リズムを好みに手直ししよう…カスタムドラマー①

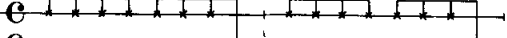
カスタムドラマーを使えばオリジナルのリズムパターンをつかって鳴らすことができる。つくる方法は2つ。

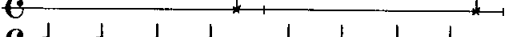
第1の方法はポータサウンドのリズムをちょっと手直りする。


ポップスをこのパターンにしてみよう

① バスドラム 

② スネアドラム 

③ ハイハットクローズ 

④ ハイハットオープン 

⑤ ボンゴ 

1. リズムセクターで、手直したいリズムを選ぶ。

ここでは、ポップスをON。



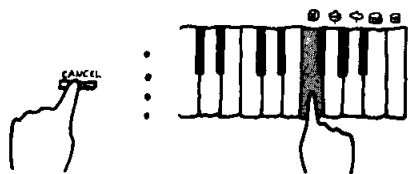
2. カスタムドラマーのプログラムスタート/エンドをON。

リズムが鳴りだす。そこでよく耳をすまそう。どこが違うのかな？
どうもバスドラムが違うようだ。



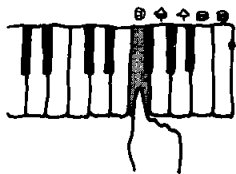
★テンポコントロールでテンポを調節できます。

3. キャンセルのボタンを押しながら、バスドラムの鍵盤を押してバスドラムの音だけ消す。



4. リズムを数えながら、タイミングよくバスドラムの鍵盤をたたく。

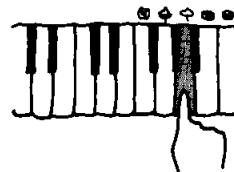
2小節パターンなので、2小節分たたく。「1・2・3・4」とリズムを数えて、1拍めと3拍めにたたこう。これでバスドラムはOK。つぎにハイハットオープンのシャーンという音がないようだぞ。



★もし、失敗したらもう1度キャンセルを押しながらバスドラムの鍵盤を押さえてからやりなおし。

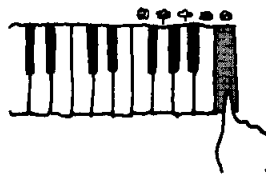
5. タイミングよくカスタムドラマー用鍵盤のハイハットオープンをたたく。

1小節のなかで「チッチッチッチッチッチッチ」& 8回刻んでいるのがハイハットクローズ。この8回めにハイハットオープンの鍵盤をたたく。さて、ボンゴの音もない。



6. 今度はボンゴの鍵盤をたたく。

「1・2・3・4」とリズムを数えながらタイミングをあわせて8回たたこう。



7. うまくいったら、プログラムスタート/エンドをもう1度ON。

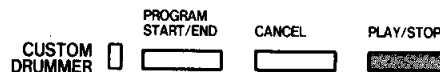
これで、完了。



●つくったパターンを鳴らしてみよう。

9. プレイ/ストップのボタンをON。

止めるときはもう1度ON。

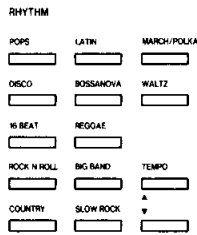


NOTE

- ★16分音符の単位までメモリーします。それ以上細かくたたいてもメモリーしません。
- ★もう1度プログラムスタート/エンドを押すか、パワースイッチを切るとつくったパターンは消去されます。
- ★つくったリズムを使ってオートベースコードで演奏するとき、ベースとコードはそのときに選んでいるリズムのパターンになります。

オリジナルのリズムをつくる…カスタムドラマー②

1. つくりたいパターンになるべく似てるリズムをリズムセクターで選ぶ。

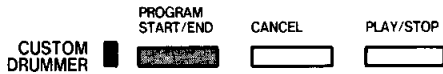


★選んだリズムパターンをもとにしてつくるシステムなのでワルツで4拍子、またビッグバンドなど12/8拍子で8ビートなどはつくれません。

12/8系	ビッグバンド、スローロック
4/4系	ポップス、ディスコ、16ビート、ロックンロール、カントリー、ラテン、ボサノバ、レゲエ、マーチ/ポルカ
3/4系	ワルツ

2. プログラムスタート/エンドのボタンON。

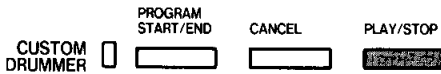
選んだリズムが鳴りだす。



鍵盤をドラムにしちやおう

1. カスタムドラマーのプレイ/ストップのボタンをON。

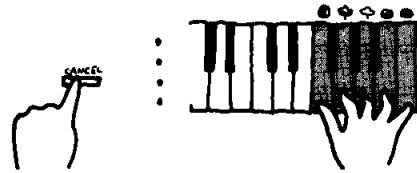
つくったリズムがメモリーされていてリズムが鳴りだしたらいちどパワースイッチを切るか、プログラムスタート/エンドを押し、キャンセルを押しながらカスタムドラマー用鍵盤を全部押してリズムパターンを消す。



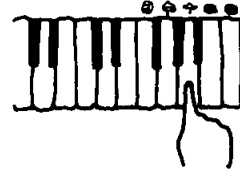
★プレイ/ストップのボタンは、オリジナルのリズムパターンがメモリーさせてある時はそのリズムの再生・ストップ、何もメモリーさせていない時はカスタムドラマー用鍵盤を打楽器として使用するスイッチとなります。

3. キャンセルを押しながらカスタムドラマー用鍵盤を全部押す。

リズムパターンが消え、ハイハットクローズがメトロノームのように「チッチッチッチ」と鳴る。



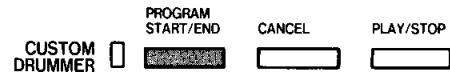
4. カスタムドラマー用鍵盤をたたいてリズムをつくる。



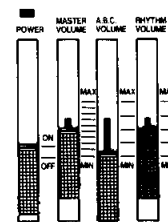
★メトロノームとして鳴っていたハイハットクローズもメモリーされます。ハイハットクローズを消したい時は、もう一度キャンセルのボタンを押しながらハイハットクローズの鍵盤を押してください。

6. うまくできたら、もう一度プログラムスタート/エンドをON。

これで完了。プレイ/ストップをONしてきいてみよう。

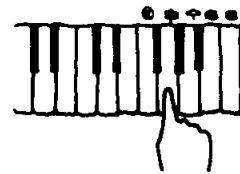


2. リズムボリュームを上げる。



3. カスタムドラマー用鍵盤をたたこう。

シーラ・Eふうでも、アフリカ原住民ふうでもお好きなよーに。

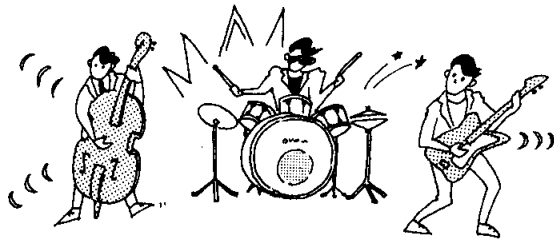


★カスタムドラマー用鍵盤部の黒鍵からは音はでません。
★鍵盤をドラムにしている時は、オートリズムを使うことはできません。
★リズムボリュームが最小の位置にあると、打楽器の音はでません。

さて、こんどはもうすこしカッコよくコードとベースの伴奏をつけて「いとしのエリー」を演奏しよう。リクツはいいから早く弾きたいという方は、右のページから読んでください。

オートベースコードってなんだ？

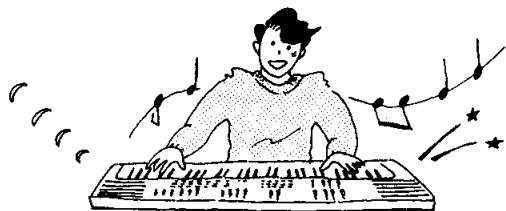
1 メロディーに伴奏をつけると、音楽らしくなるネ。その伴奏は「リズム」「コード」「ベース」が基本。本物のバンドだと3人でやっているのだけど、これをみんなまとめてメンドウみちやうのがオートリズム & オートベースコード。



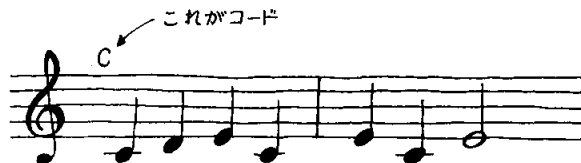
2 まず、最初を選ぶのがリズム。音楽のスタイルによってボサノバとかスイングとかの種類があるんだけど、それをリズムセクターのボタンで選ぶ。弾きたい曲をよーく聴いていちばん似てるのをみつけよう。



3 さて、残るベースとコードは？ というオートベースコードにおまかせ。その名のとおり「自動的にベースとコード」を奏してくれる。しかもリズムにのって。つまり、なんのコードかの指示さえすれば、3人分の伴奏を受け持ってくれるワケ。だから、あとはメロディーを弾くだけでワンマンバンドのできあがり。



4 それではどうやってなんのコードか指示するかというと…五線譜の上を書いてあるCとかFmとかのアルファベット、これがコード。つまりコードの種類に名前がつけてあるワケ。ギターを少しカジッたことのある人なら、もうおなじみのハズ。これをたよりにすればOK!

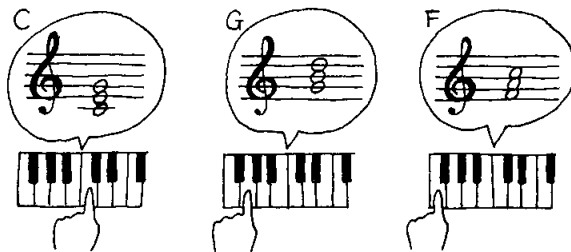


なぜコードはアルファベットなんだろう？

1 ドレミファソラシって何語か知ってる？ じつはイタリア語デス。これを英語ではCDEFGABというのだ。コードはこの英語読みを使って和音を記号にしたもの。たとえばドミソはドを代表させてCコードというように。そこで、まずはこの英語読みをマスター。

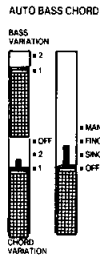


2 Cコードはドミソのこととすると、あとのDEFGABはどんな和音でしょー？というわけで、とりあえず基本コードのFとGをおぼえよう。ただしオートベースコードには、この和音を全部おぼえなくてもすむシングルフィンガーというイイ方法もある。



● オートベースコードには3種類ある。

オートベースコードの3つのレバーのうち、いちばん右のオートベースコードセレクターには4つのポジションがある。下からオフ、シングルフィンガー、フィンガード、マニュアルベースとなっていて、これでどの方法で演奏するかを選ぶのだ。オフはもちろんオートベースコードを使わないで演奏したいとき。あとの3つは、次のとおり。



- マニュアルベース
- フィンガード
- シングルフィンガー
- オフ

● シングルフィンガー

指1本で自動伴奏ができる、いちばんカンタンなオートベースコード。メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスの4種類のコードを自動伴奏できる。

● フィンガード

和音を押さえて自動伴奏をする。コード演奏になれている人や、シングルフィンガーでさせる4つだけでは演奏できないちょっと高度な曲を弾きたいときに、ここにセット。

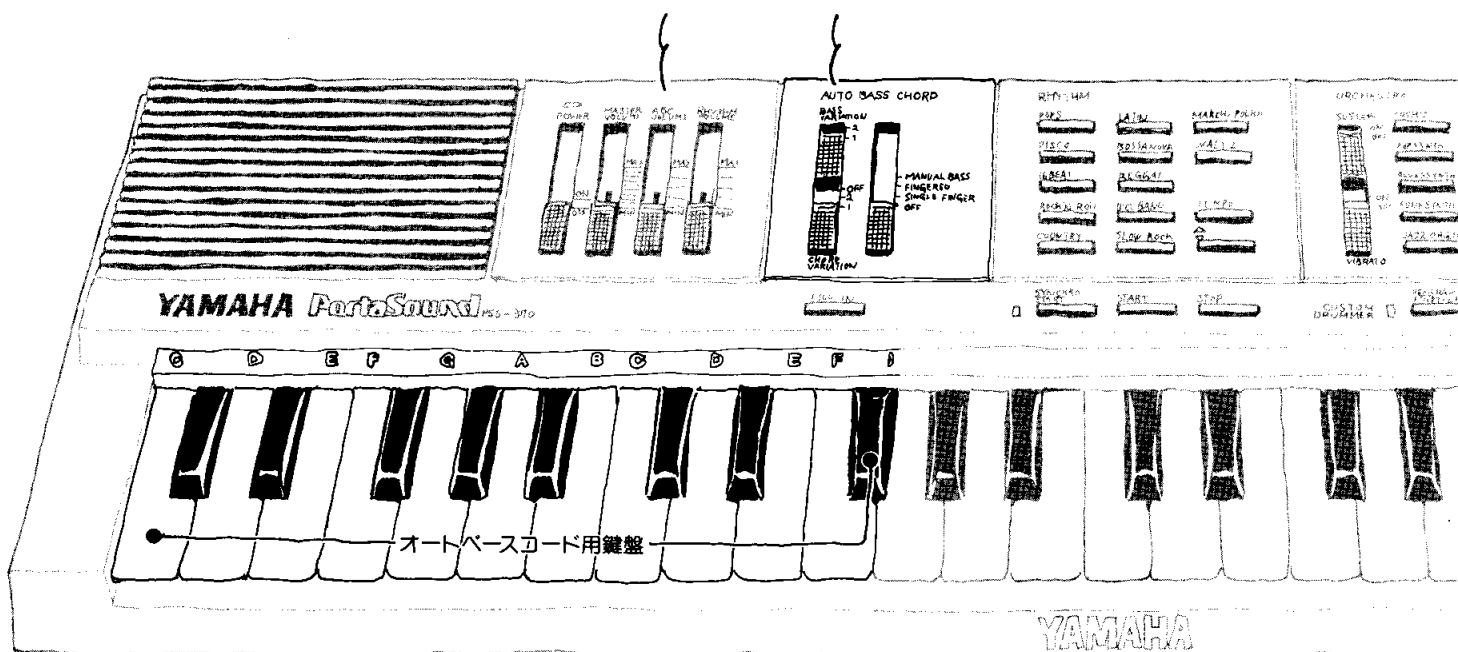
● マニュアルベース

ベースのパートを自分で弾きたいときに使う。コードの音はでない。

ここが自動伴奏の担当

ここが自動伴奏の
ボリューム

バンドみたいな演奏が
ひとりのできるオートベースコード

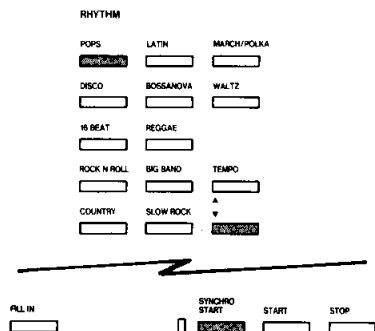


指1本で自動伴奏…シングルフィンガー

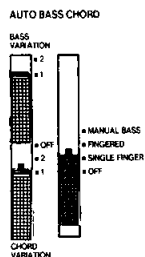
シングルフィンガーで伴奏をつけて、「いとしのエリー」を弾いてみよう。

1. リズムをセット。

リズムセレクターのポップスのボタンを押して、テンポコントロールの▼を7回ON。シンクロスタートもON。

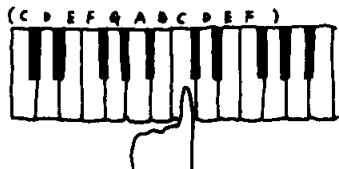


2. オートベースコードセレクターをシングルフィンガーにセット。



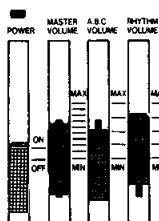
3. オートベースコード用鍵盤を指1本で押さえてみよう。

リズムによってコード(和音)とベースの伴奏が鳴ります。



4. ボリュームのバランスを調節。

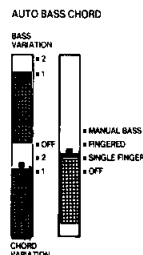
メロディーのジャズオルガンの音もだしながら、A.B.C.ボリュームとマスターボリューム、リズムボリュームのレバーを調節。メロディーと伴奏の音の大きさをバランスよく整えよう。



5. コードバリエーションでコード伴奏のパターンを選ぶ。

ベースバリエーションでベース伴奏のパターンを選ぶ。

鳴っている自動伴奏を聴きながら、レバーを操作して曲のイメージにあうコード伴奏のパターンを選ぼう。「いとしのエリー」には、両方ともシンプルな1がいい。



6. 一度リズムをストップ。



準備OK! それでは、弾いてみよう。

7. シンクロスタートをON。

「いとしのエリー」の出だしは、ミファが右手だけ。そして、ソのところで、左手でオートベースコード用鍵盤のC(ド)を押さえて自動伴奏をスタート。



NOTE

- ★自動伴奏は鍵盤から指を離れたあとと同じようくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押さえないおせば、OK。
- ★コードを変えるとき、指を鍵盤から離さないで動かすとコードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離してからつぎのコードの鍵盤を押さえるようにしましょう。
- ★オートベースコードの音色はオーケストラで選んだ音色と関係ありません。
- ★オートベースコードを使っているとき、メロディー演奏は同時に2音しか鳴らせません。

いとしのエリー

Music & Words by K. Kuwata

シンクロスタートON!
ここから演奏スタート

ジャズオルガン

な か

した こと も ある つめ た く し て も な お よ り そ う き も ち が あ れ ば い い の さ お れ

に し て み り ゃ こ れ が さ い ご の la-dy エ リー my love so sweet

©1979 by BURNING PUBLISHERS. 日本音楽著作権協会(出)許諾第 8572231-501号

★コードのおさえ方



シングルフィンガーコードのまとめ

シングルフィンガーコードを使ってだせるコードは、アルファベット1文字の「メジャーコード」、小さなmのついた「マイナーコード」、小さな7のついた「セブンスコード」、そ

●メジャーコードについて

まずは基本中の基本、メジャーコードの鍵盤の位置を覚えてしまおう。オートベースコード用鍵盤を押す位置と出てくる和音の関係は、次のとおり。

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド レ ミ ファ → 鍵盤で押す位置

C D E F G A B C D E F → コードネーム

(ド) (レ) (ミ) (ファ) (ソ) (ラ) (シ) (ド) (レ) (ミ) (ファ) } でてくる和音 (メジャーコード)

●#, bのついているコードをだすには

メジャーコードのなかには、#(シャープ)やb(フラット)のついているものもあります。この#やbは、音符についている場合と同じように「半音上げる(#)」 「半音下げる(b)」という記号です。



上の図のように、#がついていたら右上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵を押せば#・bのコードはOK。

mと7の両方がついた「マイナーセブンスコード」の4種類です。ちょっとしたキマリを覚えてしまえばカンタンなこと。ガンバロー!

●小さなmや7のついたコードをだすには

[Am]のようなマイナーコードや[G7]のようなセブンスコードは、下の図のように2つの鍵盤を同時に押さえることで出すことができます。さらに[Dm7]のようなマイナーセブンスコードは3つの鍵盤を同時に押さえます。ここまでマスターすればシングルフィンガーコード自由自在!

C(メジャーコード)

C7(セブンスコード)

Cm(マイナーコード)

Cm7(マイナーセブンスコード)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵を同時に押す (とれてもよい)

メジャーコードで押し、鍵盤より左側の黒鍵を同時に押す (とれてもよい)

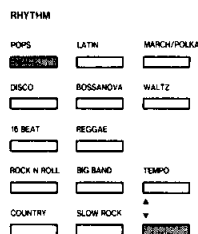
メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵と黒鍵を同時に(3音)押す (とれてもよい)

和音を押さえて自動伴奏…フィンガード

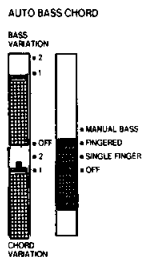
フィンガードコードで伴奏をつけて「いとしのエリー」を弾いてみよう。

1. リズムをセット。

リズムセクターのポップスのボタンを押して、テンポコントロールの▼を7回ON。シンクロスタートもON。

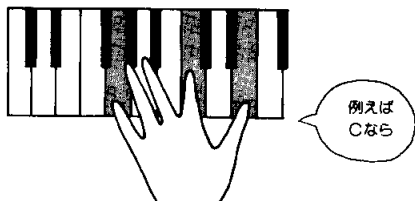


2. オートベースコードセクターをフィンガードにセット。



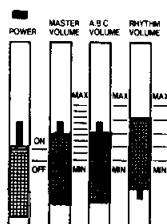
3. オートベースコード用鍵盤で和音を押さえてみよう。

リズムによってコード(和音)とベースの伴奏が鳴ります。



4. ボリュームのバランスを調節。

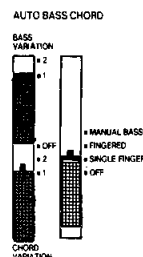
メロディーのジャズオルガンの音もだしながら、A、B、Cボリュームとマスターボリューム、リズムボリュームのレバーを調節して、メロディーと伴奏の音の大きさをバランスよく整えよう。



5. コードバリエーションでコード伴奏のパターンを選ぶ。

ベースバリエーションでベース伴奏のパターンを選ぶ。

鳴っている自動伴奏を聴きながら、レバーを操作して曲のイメージにあうコード伴奏とベース伴奏のパターンを選ぼう。「いとしのエリー」には、両方ともシンプルな1がいい。



6. 一度リズムをストップ。



準備OK / それでは、弾いてみよう。

7. シンクロスタートをON。

「いとしのエリー」の出だしは、ミファが右手だけ。そして、ソのところからオートベースコード用鍵盤でCコード(ソドミ)を押さえて自動伴奏をスタート。



NOTE

- ★自動伴奏は鍵盤から指を離したあとと同じようにくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押さなおせば、OK。
- ★コードを変えるとき、指を鍵盤から離さないと動かすとコードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離してからつぎのコードの鍵盤を押さえるようにしましょう。
- ★オートベースコードの音色はオーケストラで選んだ音色とは関係ありません。
- ★オートベースコードを使っているとき、メロディー演奏は同時に2音しか鳴らせません。

いとしのエリー

Music & Words by K. Kuwata

Chords: C, D7, F, Em, Dm7, G7

Lyrics: な か

This system shows the first six measures of the piece. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef. The key signature has one flat (B-flat major/E minor). The time signature is common time (C).

Chords: C, Em, C7, F

Lyrics: した こと も ある つめ たく して も な お よ り そ う き も ち が あ れ ば い い の さ お れ

This system contains the next four measures. The melody continues in the treble clef, and the bass clef provides harmonic support. The lyrics are written below the treble staff.

Chords: Dm7, G7, C, D7, F, G7, 1. C, 2. C

Lyrics: に し て み り や こ れ が さ い ご の la-dy エ リー my love so sweet

This system contains the final four measures of the piece. It features a first ending (1. C) and a second ending (2. C). The melody concludes in the treble clef, and the bass clef provides the final accompaniment.

「いとしのエリー」弾き語り…マニュアルベース

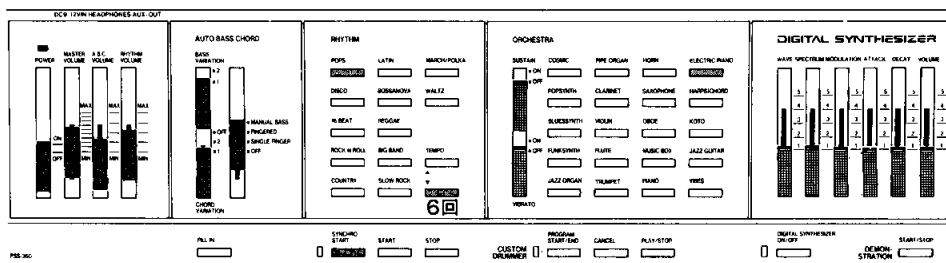
マニュアルベースは、自分でベースラインを演奏したいときにつかう。オートベースコードセレクトターをマニュアルベースにセットすると、オートベースコード用鍵盤がベース演奏用となり、コードの音はでない。また、シングルフィンガーやフィンガードのときに、自動的に刻まれることもない。弾き語りをするときになどに便利。

★リズムに自分でベースをあわせて刻むのがムズカシキときは、オートベースコードセレクトターをシングルフィンガーにセット。そして、コードのバリエーションをOFFにすれば、コードの音はでないでベースだけがリズムによって刻まれてできます。

いとしのエリー

Music & Words by K. Kuwata

左手でベース、右手でコードを演奏しながらうたおう。



Chord progression: C, D7, F, Em, Dm7, G7

な か

Chord progression: C, Em, C7, F

した こと も ある つめ た く し て も な お よ り そ う き も ち が あ れ ば い い の さ お れ

Chord progression: Dm7, G7, C, D7, F, G7, C

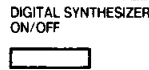
に し て み り や こ れ が さ い ご の la-dy エ リー my love so sweet

ポータサウンド総仕上げ 渚モデラートにトライ!

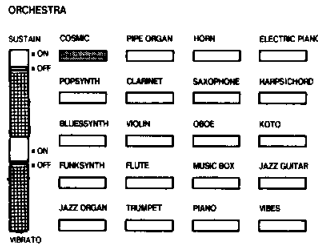
高中正義のヒット曲。途中からリズムを変えるなどというワザがあるけれど、そんなにテンポも速くないので大丈夫。

●メロディーの音色をつくる。

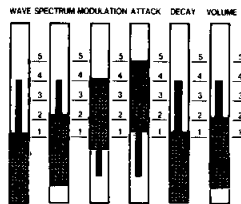
1. デジタルシンセサイザーON/OFFスイッチをOFFにする。



2. オーケストラのトーンセクターでコズミックを選び、そのボタンをON。



3. デジタルシンセサイザーのそれぞれのレバーを図のようにセット。



レバーがはじめから同じ位置にあってもいちど動かしてセットしなす。

これで、あのちょっと歪んだようなディストーション・ギターサウンドがでかがる。

●リズムを選び、ちよつと味つけをする。

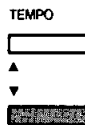
4. リズムセクターで16ビートを選び、そのボタンをON。

リズムのスタートボタンを押してリズムを鳴らしてみる。



5. テンポコントロールでテンポを調節。

ここでは▼を3回ON。

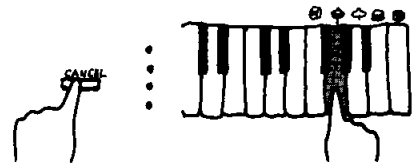


6. カスタムドラマーのプログラムスタート/エンドをON。

ハイハットのパターンだけちよつと手直しをしよう。

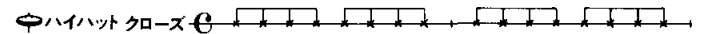


7. キャンセルのボタンを押しながらカスタムドラマー用鍵盤のハイハットクロスを押す。



8. ハイハットのパターンをたたこう。

うまくきたら、もういちどプログラムスタート/エンドをON。

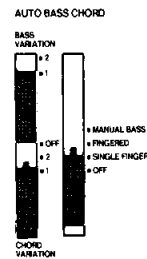


●オートベースコードのパターンを選ぶ。

9. オートベースコードセクターをシングルフィンガーにセット。

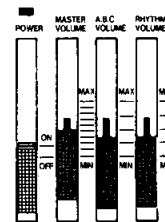
10. ベースとコードのバリエーションをセット。

ここでは、両方とも1にしよう。



●最後にメロディー、リズム、オートベースコードの音量のバランスを整える。

11. マスターボリューム、A.B.C.ボリューム、リズムボリュームの3つを調節。



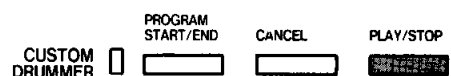
12. 一度リズムをストップ!



●準備OK! それでは弾いてみよう。

13. カスタムドラマーのプレイ/ストップをON。プレイスタート。

はじめはゆっくりのテンポにして練習しよう。



故障と誤りやすい現象

故障した!と思う前にちょっとお確かめください。

現 象	原 因	解 決 法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音ができる。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが暗い。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
トーンセレクターで選んだ音色とは、別の音色がでる。	①オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤で弾いている。 ②デジタルシンセサイザーのON/OFFスイッチが押されている。 ③音色を選んだ後にデジタルシンセサイザーのレバーを動かした。	①オートベースコードを使っているときにでくる自動伴奏の音色はトーンセレクトで選んだ音色とは関係ありません。 ②③4～9ページの説明をお読みください。
鍵盤を同時に10音押さえても9音しかでない。また、オートベースコードの伴奏で演奏しているとき、鍵盤を同時に3音押さえても2音しかでない。	音色は同時に9音までしかでないようになっています。また、リズムを鳴らしているときは6音、オートベースコードセレクターがOFFでないときは5音、さらにその両方を使用していると2音しかできません。	先に押さえた音が優先します。
リズムの音がでない。	①シンクロスタート、もしくはスタートのボタンが押されていない。 ②シンクロスタートのボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押していない。 ③リズムボリュームが最小の位置にある。	①②③12ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセレクターで選んだリズムとは別のリズムがでる。	フィルインが押されている。	フィルインを押すとリズムは変化パターンに切りかわります。
カスタムドラマーを使用しているとき、鍵盤から音がでない。	①リズムボリュームが最小の位置にある。 ②カスタムドラマー用鍵盤部の黒鍵からは音はでません。	①②15ページの説明をお読みください。
オートベースコードの音がでない。	①オートベースコードセレクターがOFFの位置になっている。 ②オートベースコード用鍵盤を押さえていない。 ③リズムがセットされていない。 ④オートベースコードセレクターがマニュアルベースにセットされている。 ⑤コードバリエーションがOFFにセットされている。	①②③16～22ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ④⑤22ページの説明をお読みください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤からいったん指を離さずに弾いているため。	コードを変えるときは、いちど鍵盤から指を離すようにしてください。

仕様

●鍵盤

ミニ鍵盤49鍵 (C1-C5)

●オーケストラ

トーンセクター(音色-20種類)
 コズミック ポップシンセ
 ブルースシンセ ファンクシンセ
 ピアノ ジャズオルガン
 バイブオルガン クラリネット
 バイオリン フルート
 トランペット ホルン
 サキソフォン オーボエ
 ミュージックボックス
 エレクトリックピアノ
 ハープシコード 琴
 ジャズギター バイブ

●効果

サステイン
 ビブラート

●リズム

リズムセレクト(リズム-12種類)
 ポップス ディスコ
 16ビート ロックンロール
 カントリー ラテン
 ボサノバ レゲエ
 ビッグバンド スローロック
 マーチ/ポルカ ワルツ
 リズムコントロール
 リズムボリューム
 フィルインスイッチ
 シンクロスタートスイッチ
 スタートスイッチ
 ストップスイッチ
 テンポコントロールスイッチ
 テンポランプ

(テンポ調節31段階)

回数	テンポ(J=)	
	秒▼	秒▲
0	120	
1	113	130
2	106	140
3	100	150
4	93	160
5	86	170
6	80	183
7	74	197
8	70	211
9	66	226
10	62	242
11	58	258
12	54	276
13	50	296
14	46	317
15	43	340

●オートベースコード

オートベースコードセクター
 (オフ/シングルフィンガー/フィンガード/マニュアルベース)
 コードバリエーション(1/2/オフ)
 ベースバリエーション(1/2)
 A.B.C.ボリューム

●デジタルシンセサイザー

ON/OFFスイッチ
 ウェーブ
 スペクトラム
 モジュレーション
 アタック
 ディケイ
 ボリューム

●カスタムドラマー

プログラムスタート/エンド スイッチ
 プレイ/ストップスイッチ
 キャンセル

●デモンストレーション

スタート/ストップスイッチ
 (美しく青きドナウ)

●その他のコントロール

パワーON/OFFスイッチ
 パイロットランプ
 マスターボリューム

●メインアンプ

2W (4Ω負荷)

●スピーカー

9cm (4Ω)

●定格電源

DC9V: 単2乾電池6個
 電源アダプター (PA-1)

●消費電力

電源アダプター (PA-1) 使用時: 4.0W
 電池使用時: 1.7W
 電池寿命: 通常演奏で連続15時間以上

●付属端子

DC 9-12V IN JACK
 HEADPHONES JACK
 AUX-OUT JACK

●寸法・外装

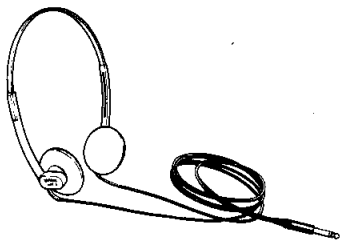
本体材質: スチロール樹脂
 仕上げ: アクリルラッカー塗装
 間口: 629mm
 奥行: 229mm
 高さ: 57mm
 重量: 2.4kg (乾電池重量含まず)

●付属品

単2乾電池6個

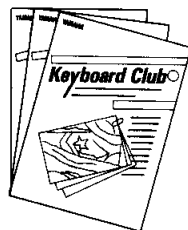
●ヘッドホン [HPE-3]

¥3,000



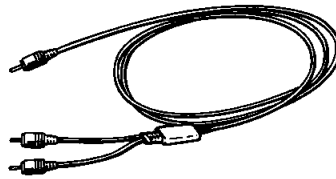
●キーボードクラブ [キーボード用楽譜集]

VOL.1 歌謡ヒットソング ¥1,200
 VOL.2 ポピュラー ¥1,200
 VOL.3 ホームミュージック ¥1,000



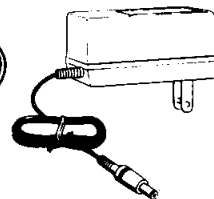
●オーディオ接続コード [PC-2]

¥1,000



●電源アダプター [PA-1]

¥2,000



●ソフトケース [SCC-15]

¥2,500



アフターサービスと保証

サービスの依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

■本機の保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

■保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスを依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万が一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL.0878-51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911(ヤマハ宮竹工場内) TEL.0534-65-6711

(本社)

電音サービス部 〒435 浜松市上西町911
TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本社	〒430 浜松市中沢町10-1
シングルキーボード事業部	TEL.0534(60)3275
東京営業所	〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル TEL.03(572)3111
大阪営業所	〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)7491
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5145
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2152
北海道営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター TEL.011(512)6113
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル TEL.022(222)6141
広島営業所	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082(244)3749

YAMAHA feelin' club



T4960693003190

YAMAHA